

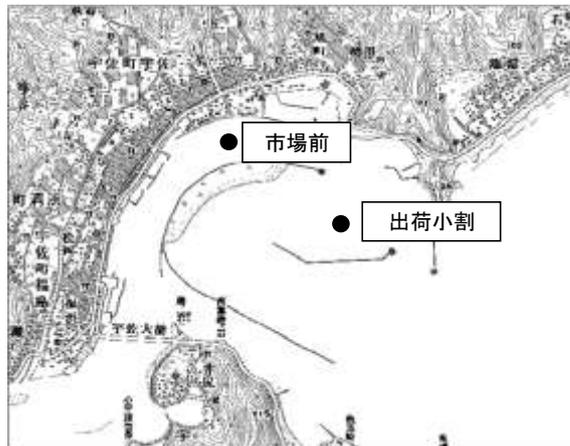
環境調査結果のお知らせ

本日午前、宇佐漁港周辺のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

採水サンプルを検鏡した結果、有害種のシャットネラ属が最高で21cells/ml、カレニア・ミキモトイが最高で2cells/ml認められました。
市場前でシャットネラ属は漁業被害が想定される細胞密度を超えています。
 浦ノ内湾内は、全ての観測点でシャットネラ属が被害の想定される細胞密度を超えており、潮汐や風によって宇佐漁港周辺にも移動する可能性があります。
 慎重な養殖管理をお願いします。

表5 プランクトン (cells/ml)

		シャットネラ属	カレニア・ミキモトイ	ジャイロディニウム属
市場前 透明度: 4.8m	0m	13	0	3
	2m	21	2	2
	5m	9	0	1
出荷小割 透明度: 5.8m	0m	0	0	0
	2m	1	0	3
	5m	2	1	3
(参考) 光松 透明度: 1.8m	0m	4	1	100
	2m	1,100	10	50
	5m	410	30	30
(参考) 大鹿 透明度: 1.6m	0m	110	0	50
	2m	1,100	20	30
	5m	230	50	20
(参考) 水試小割前 透明度: 2.9m	0m	3	1	21
	2m	190	0	60
	5m	190	0	50



漁業被害が想定される細胞密度

- ・シャットネラ属:
10~100cells/ml(魚類のへい死)
- ・カレニア・ミキモトイ:
数百~5,000cells/ml(魚類などのへい死)